

※江戸時代の三春は馬の名産地でした！その馬をモチーフに「三春駒」ができました。

## 令和7年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、 「堀越集落」が農林水産大臣賞を受賞されました！

田村市船引町の南に位置する「堀越集落」は、長年、集落営農に取り組んでこられました。平成29年に組織を再編し、非農家を含めた集落全戸からなる「一般社団法人ほりこし創生会」と担い手となる法人「株式会社ほりこしフォーライフ」による法人2階建て方式の集落営農をスタートしました。その後、農村環境の整備や農地の利用調整、法人への農地集積などに取り組みられ、集落の活性化に貢献してきました。

集落の方々の、農村集落を守ろうとする強い想いにより、集落で安心して暮らせる地域づくりを継承し地区内の全世帯が参加し行われてきた様々な取組が、全国においてもモデルとなる素晴らしい活動として評価されました。改めて敬意を表します。

「堀越集落」の皆さん、受賞誠におめでとうございます！



表彰式の様子  
(前列中央：堀越集落の代表2名)

## 令和7年度豊かなむらづくり顕彰事業で、「ファームパークいわえ 運営委員会」が県知事賞、民友新聞社長賞を受賞されました！

三春町の西部に位置する上舞木地区で、耕作放棄地解消と地域活性化に取り組む「ファームパークいわえ運営委員会」が、福島県知事賞、福島民友新聞社長賞を受賞されました。

「ファームパークいわえ運営委員会」は、2009年に「ファームパークいわえ」を整備し、田んぼアートや花菖蒲などの植栽による景観整備、花と地域の伝統芸能などを組み合わせたイベントの開催に取り組んでいます。

「ファームパークいわえ」には年間3,000人が訪れることで地域に新たな活気が生まれたほか、耕作放棄地対策などの農業生産の維持に寄与しています。

「ファームパークいわえ運営委員会」の皆さん、受賞誠におめでとうございます！



表彰式の様子  
(左右端が運営委員会代表の2名)

# 令和7年度の活動

## 三春町で活躍している若手農業者を紹介します！ ～三春町 さくら彩園～

三春町内のピーマンの認定新規就農者2名（橋本剛さん、黒羽実樹さん）が、令和7年1月に「合同会社さくら彩園」を設立しました。

橋本剛さんは令和4年に就農、黒羽実樹さんは令和5年に就農した新規就農者であり、両名ともピーマンの「グリーンファーム込木」で研修を受けた後、就農しました。令和8年は、さらにハウスを新規導入し、規模拡大を目指しています。

田村農業普及所では、引き続き、次世代の担い手の育成に取り組んでいきます。



左：橋本 剛さん  
右：黒羽 実樹さん

## あたらしく認証GAPを取得しました ～三春町 かおるブルーベリー園～

三春町の「かおるブルーベリー園」が令和7年6月にブルーベリーでJGAPを取得しました。作付面積は1.8haで摘み取りが主の観光農園です。

GAPを取得されたきっかけは、生産物の安全・安心を入場者等へPRするためと、経営の効率化を図るためです。GAPを実践したことで、パートさんの働き方や農作業への意識が変わったとのこと。また、管理や記帳をしっかり行うことで、次年度の栽培に向けた準備ができています。今後も継続して取組を行っていきます。



JGAP認証を取得した  
千葉さんご夫婦

## みどり認定を取得してみませんか

環境にやさしい農業推進のため、みどり認定制度が令和5年度から開始されています。その取組例としては、堆肥を活用した土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減等があります。

メリットとしては、①設備投資の際の税制優遇、②国庫事業採択で優遇、③日本政策金融公庫の無利子融資等が活用できることです。

認定のハードルは高いものではありません。申請書の作成を支援しますので認定を受けてみませんか。



みどり認定証授与式  
(JAピーマン部会)



# 野菜



## ピーマンのグリーンな栽培体系加速化事業の実証結果報告会を開催しました

令和7年12月19日（金）に、JAピーマン専門部会青年部に対して環境測定装置と天敵農薬を活用した実証試験の結果を発表し、実証農家から意見を聞きました。

環境測定装置の導入により、ハウス内環境を数値で把握でき、ほ場確認回数が減り、安心して作業できるとの声がありました。天敵農薬は省力化につながる一方、農薬選定の難しさや継続的なデータ収集の必要性も挙げられました。今後は産地全体となるJAピーマン専門部会に取組の情報を発信し、技術普及を図ります。



報告会の様子

## ピーマン施設栽培者向けの高温対策研修会を開催しました

令和8年1月26日（金）、ピーマン施設栽培者の次作の高温対策の一助とするため、農業総合センターのソーラー自動換気装置と片屋根オープンハウスの視察研修会を行いました。

JAピーマン専門部会青年部を対象に取り組んでいる環境測定装置の実証を受け、自動換気装置や片屋根オープンハウスに関心を示す声があり、当日は性能や導入コスト、メリット・デメリットに関する質問が多く出され、参加者の関心の高さと導入意欲が伺えました。



研修会の様子

## 田村市都路町でさつまいもを栽培してみませんか

田村市では、生産者の所得向上と震災後の都路町の営農再開を進める品目として「さつまいも」を選定し振興を図っています。

令和7年度は、田村市主催で都路町のさつまいも生産者のほ場において、新規栽培者や栽培に興味がある生産者を集めた現地見学会の開催や、ほ場の個別巡回指導など、新規栽培者に対して重点的に支援を行いました。

また、令和7年9月に田村市農産物振興施設が完成し、干し芋等の加工も可能となりました。さつまいも栽培等にご興味のある方は、田村農業普及所にご連絡ください。



研修会の様子

## 作物

### 「スマート農業及び省力化技術に関する稲作講習会」を開催しました

稲作農家を対象に「スマート農業及び省力化技術に関する稲作講習会」を令和7年11月27日（木）に田村市常葉町で開催しました。

当所から、省力化技術として直播栽培の取組概要、県育成品種「天のつぶ」実証ほの結果概要を紹介しました。また、外部講師として、ヤンマーアグリジャパン(株)からスマート農業機械の活用事例の紹介、リモコン式草刈り機の実演を行い、シンジェンタジャパン株式会社より直播栽培で使用する種子コーティング資材について紹介していただきました。

田村農業普及所では、今後も作付拡大を志向する稲作農家に向けて、省力化や軽労化につながる新技術や農業機械等の情報を講習会等で提供し、稲作経営を支援していきます！



講習会の様子

### エゴマ有機栽培実証を行いました

田村農業普及所では農業総合センター有機農業推進室と連携し田村市エゴマ振興協議会のほ場に、これまで使用していたネキリムシ殺虫剤を使用しない栽培についての実証ほを設置し、栽培資材をすべて有機適合資材とした場合の検証を行いました。

その結果、ネキリムシ殺虫剤を使用しなくてもネキリムシの被害は全体の5%以下にとどまり、エゴマの生育や収量等への影響は見られない結果となりました。次年度も継続して調査を行い、エゴマ生産者への有機栽培導入を支援します。



有機栽培実証ほ

## 果樹

### ハウスブドウのせん定講習会を開催しました

近年、田村地方では、新たな産地の形成を目指し多くの生産者がハウスブドウの栽培に取り組んでいます。このような中、令和8年2月4日（水）に田村市の主催によるハウスブドウのせん定講習会が開催されました。

自己流で栽培を開始した生産者もおり、苗木から若木時代の適切な樹冠拡大のためのせん定法や成木期に向けてのせん定法等について、熱心に聞き入るとともに、活発な質疑応答が繰り返されました。



講習会の様子

## コギクの電照実証ほを行いました！

田村地域のコギクでは、夜間電照をして花芽分化を抑制し、8月盆に計画的に出荷をしています。

電源確保が困難な山間部にて、令和6～7年にソーラーパネル、バッテリーユニット、制御ユニットで構成された「太陽光移動式蓄電装置」を用い、8月盆出し露地電照栽培の実証試験を行いました。気象や鉛バッテリーの寿命等の影響で稼働が不安定な時期があったため電照時間が不足し、やや開花が前進したものの、ほぼ8月盆需要期に出荷できました。今後も、スマート農業技術を取り入れながら、コギクの安定生産をすすめていきます。



太陽光蓄電装置

## 畜産

### JA福島さくら和牛繁殖部会船引支部の研修会が開催されました

令和7年11月21日（金）、郡山市の愛情館にて、JA福島さくら和牛繁殖部会船引支部の研修会が開かれました。当所からは「今後の畜産経営について（船引町の子牛生産の現状と課題）」と題して、子牛の哺乳期の管理、親牛の分娩時期前後の管理等について説明を行いました。

子牛の体重を確保するためには、哺乳期のスターター飼料給与や、親牛に対する分娩前から泌乳期間の増し飼いがポイントとなります。第1胃がよく発達した子牛の育成を目指しましょう！



研修会の様子

### 畜産クラスター事業を活用しませんか

畜産クラスター事業は、畜産農家等における肉用牛及び乳用牛の増頭や繁殖雌牛の更新、規模拡大に向けた機械導入等を支援します。

ご興味がある方は、JA福島さくら畜産課や田村農業普及所までご相談ください！

### 新規参入企業が飼料生産に取り組んでいます

令和7年度、都路町への参入企業が、農地中間管理機構を活用して農地を集積し、新たに約14haの飼料用とうもろこし生産に取り組みました。

田村農業普及所は、参入企業を営農再開地域の担い手として、面積拡大と良質飼料生産を支援してまいります。

# 営農再開

## 田村市の営農再開に向けて会議を開催しました

令和8年2月4日（水）に令和7年度田村市営農再開戦略会議を開催しました。この戦略会議は、年1回開催しており、田村市の営農再開の進捗や課題を整理し、関係機関で取組の方向性を検討し、情報を共有する場としております。本会議の他に、令和7年8月28日（木）に現地チーム員会議を開催し、さつまいもと畜産の具体的な営農再開に向けた活動を検討しています。復興農場「全農美土里ファーム」の建設地も視察しました。

令和8年度から始まる第3期復興・創生期間の取り組みを着実に進めていきたいと考えております。



復興農場「全農美土里ファーム」視察



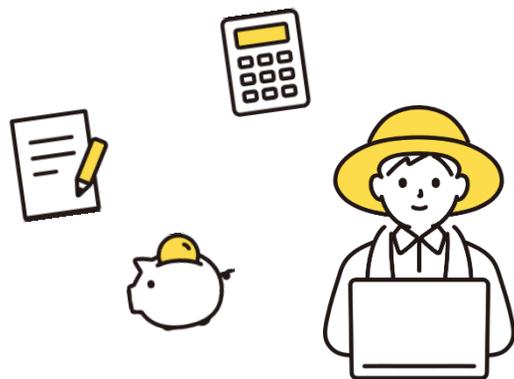
田村市営農再開戦略会議で畜産活動報告

# 経営能力向上

## 経営能力向上研修を開催しました

田村農業普及所では、毎年、田村地域就農支援プロジェクトと共催で「経営能力向上研修」を開催しています。

令和7年度は「複式簿記の基礎（講師：郡司税理士）」、「パソコン農業簿記の基礎（講師：ソリマチ株式会社）」、「法人化の基礎と実践（講師：県農業会議、三春町法人経営者）」の3講座を令和7年11月14日（金）、18日（火）、26日（水）、27日（木）、12月10日（水）の5日間開催しました。就農希望者、就農研修生、新規就農者の他、認定農業者や集落営農組合の代表者ら延べ36名が参加し、簿記の基礎や今後の経営のあり方について知識を深めました。



講座1「複式簿記の基礎」の様子

## 小野赤沼地区に鳥獣被害対策モデル地区を設置しました

小野赤沼地区には水稻の種子生産ほ場があり、イノシシ対策に重点を置く必要があるため支援対象とし、モデル地区に設定しました。

今年度は地区住民の皆様にご協力いただき電気柵設置による被害防止効果を理解してもらうため、実証ほを設置して活動を行いました。電気柵の正しい設置方法の勉強会や検討会、地区内の巡回指導や情報誌の発行を通してイノシシ対策が地区内に浸透し、今年度はイノシシの侵入が大幅に減少し、種子生産ほ場の審査においてイノシシ被害による失格をゼロにおさえました。一方で電気柵下の除草等、次年度に向けた課題も明らかになったため、地区内での検討を支援します。



実証ほの様子

## お知らせ 農作業事故や熱中症に注意しましょう！

春の農作業安全運動推進運動実施中（3/1～5/31）です！

トラクターで作業する際は、ほ場内や周辺の傾斜、凸凹などをあらかじめ確認して転倒を予防し、シートベルトやヘルメット等を装着して作業しましょう。

また、毎年5月上旬から熱中症が発生していますので、ハウス内での作業など、熱中症に注意しましょう。



## お知らせ 山菜類の出荷制限が継続しています

田村地方では、「こしあぶら」や「たけのこ」等の野生の山菜類において、未だに出荷制限が解除されておられませんので、ご注意ください。なお、栽培している山菜類の出荷を検討されている方は、現地での確認等が必要になりますので、田村農業普及所までご一報ください。

出荷制限品目	該当市町村
野生きのこ※	田村市、三春町、小野町
こしあぶら	田村市、三春町、小野町
原木しいたけ（露地）	田村市（福島第一原子力発電所から20km圏内の地域に限る）
ぜんまい	田村市
たらのめ（野生）	田村市
くさそてつ（こごみ）	三春町
たけのこ	田村市、三春町

※県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるまつたけ、なめこ、ならたけ、むきたけ、くりたけを 除く

## お知らせ

## 飼養状況確認を受けましょう

原発事故に伴い、牛をと畜場や成牛セリに搬入するためには、県やJA等が実施する年1回の「飼養状況確認調査」が必要です。

安全・安心な畜産物生産のため、引き続き、調査へのご協力と適切な飼養管理をお願いします。



## お知らせ

## 遅霜の被害に注意しましょう！

3月下旬から5月下旬にかけては、定植前後の苗や果樹の花芽などでの凍霜害被害が懸念されます。

気象情報や霜注意報を十分確認し、霜の被害発生を抑制しましょう！

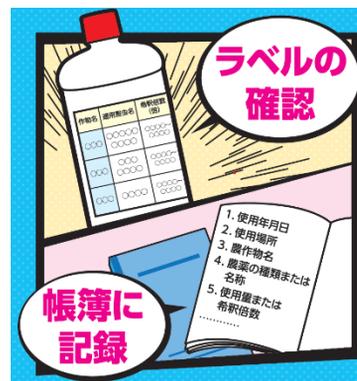


## お知らせ

## 農薬は適正に使用しましょう

農薬が適正に使用されないと、食品衛生法の残留基準値を超えて農薬が残留する可能性があります。その場合、出荷した農作物は回収や廃棄の対象となります。

農薬の適正使用を遵守するため、日頃から農薬ラベルを確認し使用記録の記帳を行いましょう。

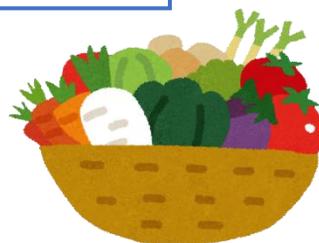


## お知らせ

## 有機農業、はじめてみませんか？

環境と未来を育む一歩として、化学肥料や農薬に頼らず、自然の力を生かす有機農業をはじめてみませんか。

ご興味のある方は、農業総合センター有機農業推進室（電話：024-958-1711）にご相談ください。



### TOPIC

### 田村農業普及所 投稿動画

🔍 1400のネタばらし



R7.12.27

三春町上舞木地区  
「三春町の田んぼアートを  
紹介します！」



R8.3.25 17:00 公開予定  
田村市都路町

「田村市で広まっている  
〇〇〇〇栽培について  
紹介します！」